

地域教育

問 子どもが地域に関心を持つようなきっかけづくりが必要だと思いますが、市ではどのような取り組みをしているか教えてください。

答 市では、青少年健全育成事業の一環として「地域ふれあい活動」という日を設け、児童・生徒が地区住民と一体で地区運動会・盆踊り・清掃活動・防災訓練などに取り組んでいます。また小学校では、3・4年生の社会科の授業で「がまごおり」という副読本を用い、地域の産業やお店・工場についての成り立ちなどを学んだり、直接現場を訪れて働いている方の生の声を取材するといった学習を実践しています。



副読本「がまごおり」

公共施設

問 体育館老朽化に伴う体育館の新築に関して、進捗状況を教えてください。

答 建て替えの条件として、①駐車場が確保できる②市有地である③公共交通機関から歩いていける距離の3つが重要と考えています。現在、建て替え場所の候補地としてポートレース蒲郡南東駐車場または現体育センター敷地が挙がっていますが、両候補地での建て替えに関して、詳細な比較検討を行いました。その検討報告などを参考にし、建設場所を決定する予定です。



現在の市民体育センター

問 公共施設マネジメント実施計画において、更新の際に3割縮減とありますが、3割の面積縮減と統廃合とはどのような関係性があるのですか。また長寿命化とはどのようなことなのか教えてください。

答 現在、蒲郡の公共施設は251施設あり、今後50年で全ての施設を建て直す場合およそ千800億円かかり、年額換算すると約36億円と試算が出ています。しかし、市の公共施設に係る経費は平均約18億円と半分の額となっています。これでは福祉サービスの向上には繋がらないため、サービスを低下させることなく維持管理面積を減らす工夫が必要です。3割削減とは、人口減を見据え計画

を定めたものであり、統廃合については、例えば学校を児童館・公民館と一緒にして公共施設の機能を集中し、総面積を少なくするといった内容です。また、長寿命化とは建物の耐用年数の見方を鉄筋コンクリートの場合、60年から80年とし、修繕を行いながら維持管理期間を延ばしていくことです。



昭和44年に建設された図書館も、公共施設マネジメントにおいて今後のあり方が検討されています。

公共施設 マネジメントって??

公共施設マネジメントとは、地方公共団体などが所管する公共施設を自治体経営の視点から、総合的、統括的に管理・運営・活用する仕組みです。高度経済成長期の人口増加に伴い建設されてきた多くの公共施設は、今後一斉に建て替えや改修の時期を迎えることから、現在ある施設をそのまま維持していくと、将来世代に大きな負担を残すこととなります。

本格的な人口減少、少子高齢化時代の到来を見据え、今後は、施設規模の適正化や運営の効率化を図るとともに、社会の変化や新しいニーズに対応するための整備を行う必要があります。

これらを踏まえて、市では公共施設マネジメントの取り組みを進めています。

